

豊かな森づくりと魅力ある林業の構築をめざして

平成 30 年度版 「富山県森林・林業白書」



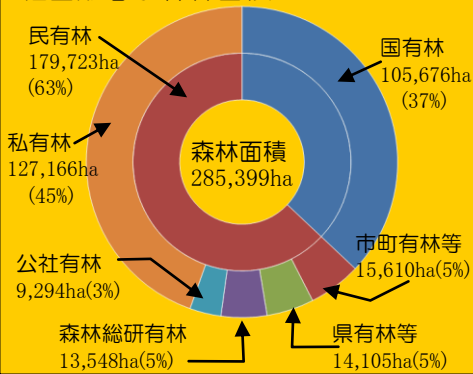
第 68 回全国植樹祭〔魚津桃山運動公園〕



県産材備品の導入〔富山大学人間発達科学部附属幼稚園〕

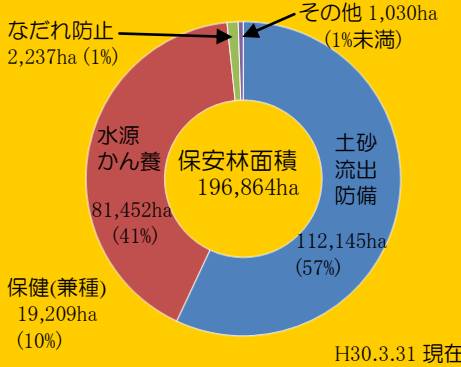
I 富山県の森林・林業の姿

経営形態別森林面積 H29.3.31 現在



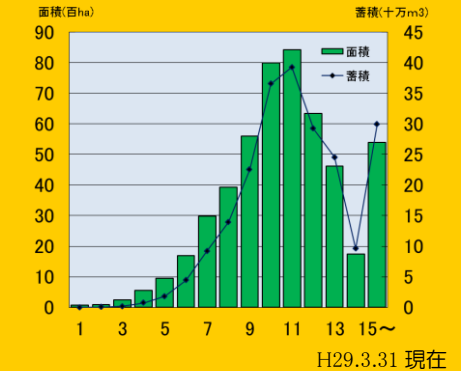
本県の森林面積は約 285 千 ha で、総土地面積 425 千 ha の 67% を占めています。森林率は全国とほぼ同じ率となっています。

保安林面積

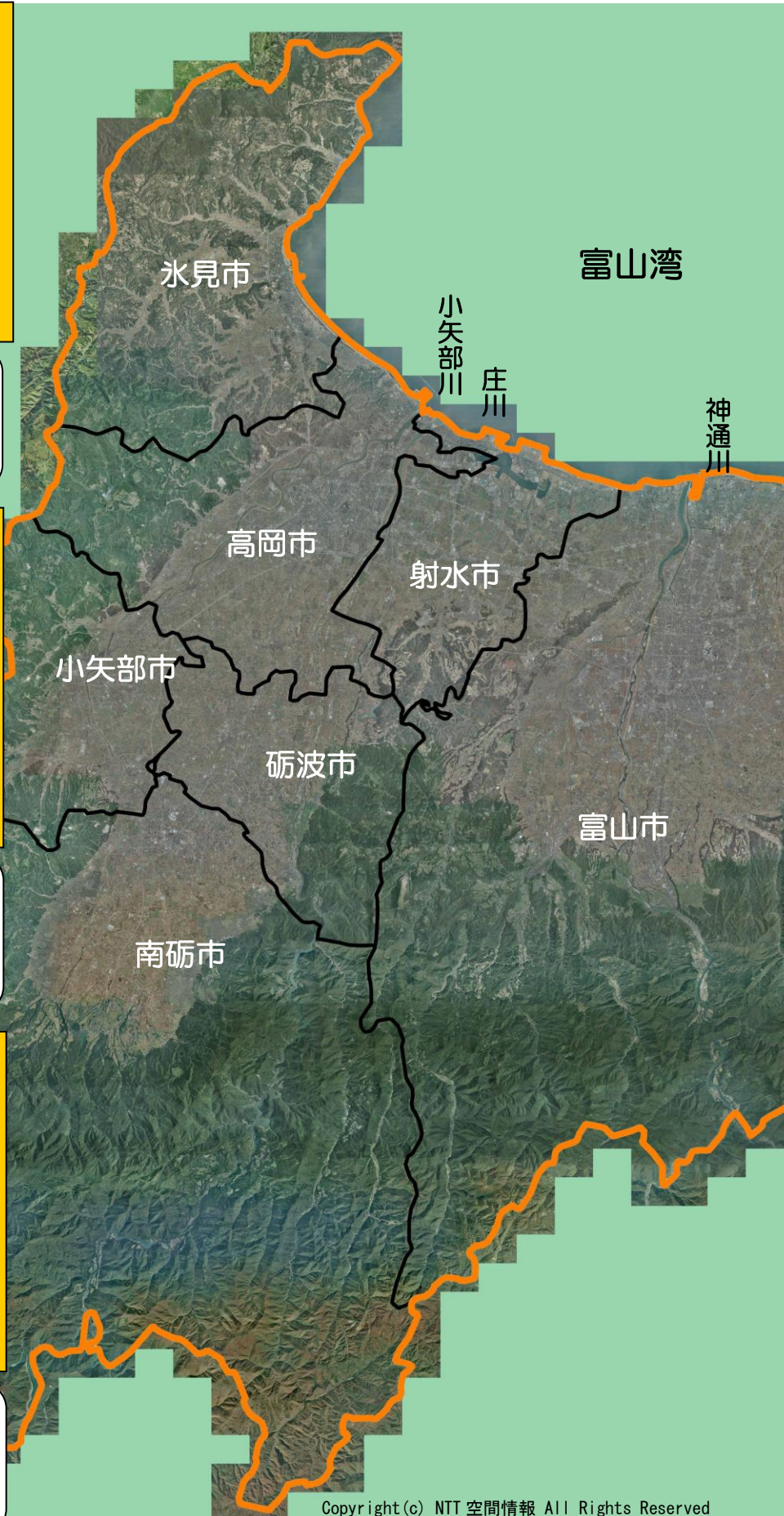


森林の公益的機能の維持・増進が重要な森林を目的によって保安林に指定しています。保安林率は 69.0% で、全国の都道府県で最も高くなっています。

人工林の齢級別面積・蓄積

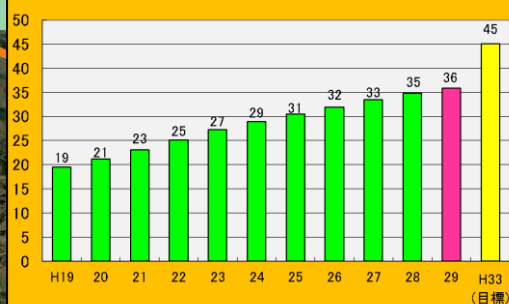


県内の人工林は、木材として利用可能な 9 齢級以上の森林が、面積・蓄積ともに全体の約 8 割を占めています。



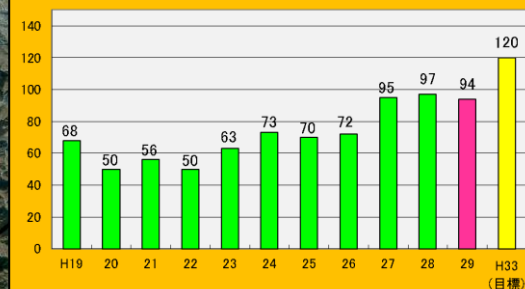


間伐実績累計の推移 (単位:千 ha)



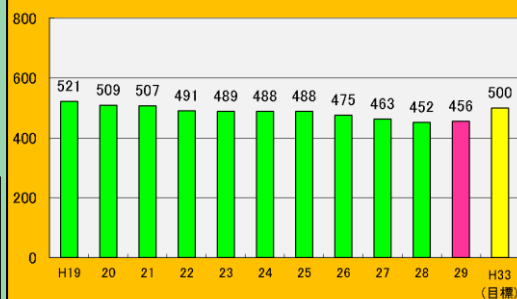
二酸化炭素の吸収源対策としても重要な役割を持つ間伐を毎年 1,800ha 前後実施しています。H29 年度には目標値の 80% となっており、引き続き整備を進めていく必要があります。

素材生産量の推移 (単位:千 m³)



県内の人工林資源が充実してきたことや、林内路網の整備や高性能林業機械の導入等を積極的に進めてきたことから、スギを主体に増加傾向にあります。また、利用促進については木造公共施設の整備や県産材を使った住宅建設等の支援を行っています。

林業就業者の推移 (単位:人)



林業就業者は減少傾向にありますが、平均年齢(森林組合)は 60 歳(H5)から 50 歳(H29)と若返っています。一方、定着率は建設業に比べ低かったため、通年雇用を目指した「とやま型冬期林業チャレンジ支援事業」などにより、安定した雇用環境を創出し、定着率を高める取り組みを行っています。

目次

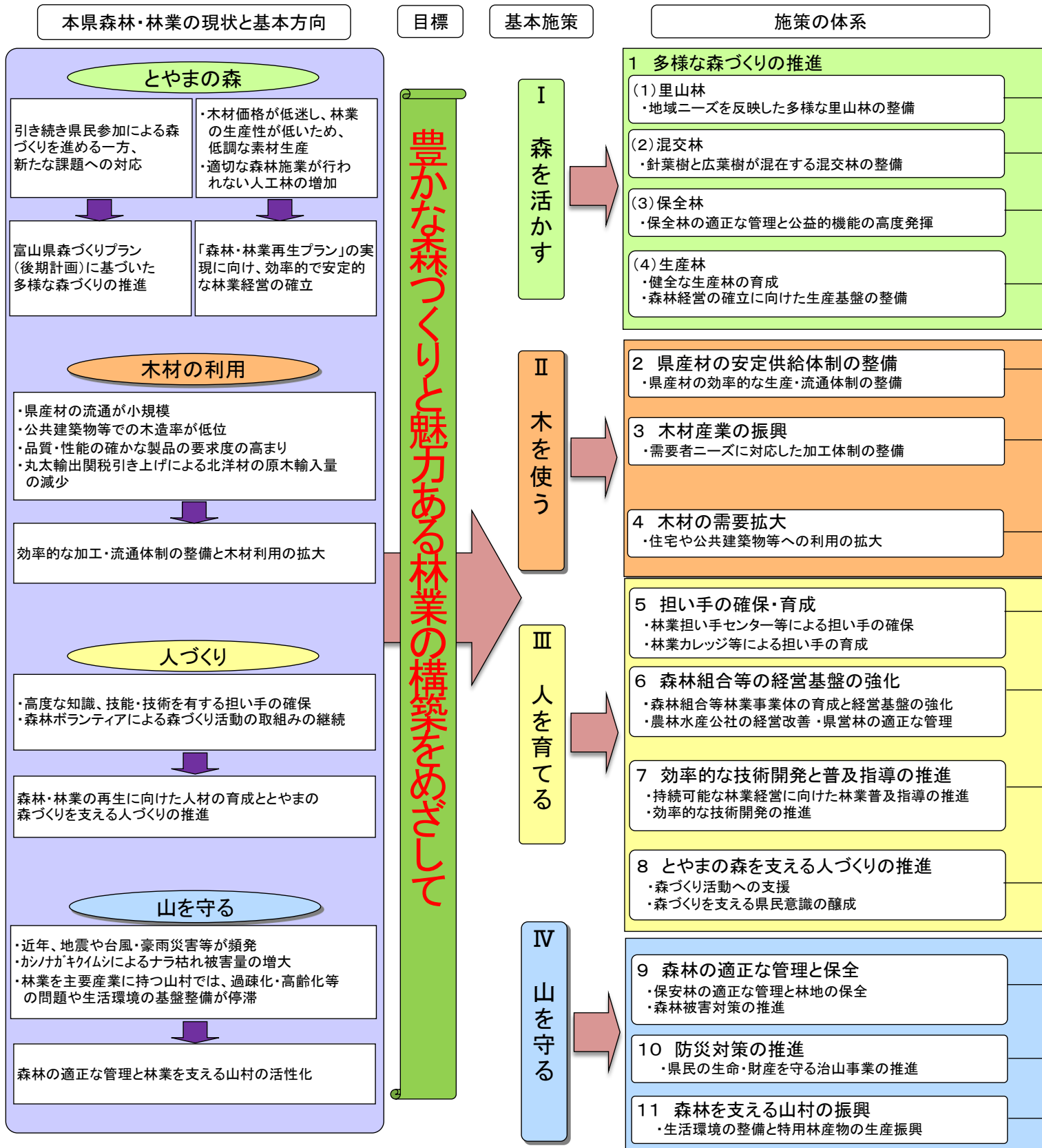
- I 富山県森林・林業の姿 1
- II 富山県森林・林業振興計画〔改訂版〕の概要 3
- III 計画実現のため、平成 29 年度に講じた主な取組み 5
 - 1 豊かな森づくりに向けた主な施策
 - 2 魅力ある林業の構築に向けた主な施策
- IV 富山県森林・林業振興計画の目標指標と平成 29 年度実績 16
- V 平成 29 年度の森林・林業に関する主な出来事 17

II 富山県森林・林業振興計画(改訂版)の概要

○本計画の位置付け

本計画は県の総合計画である「元気とやま創造計画」の森林・林業・木材産業分野に関する計画として、県森林・林業行政の基本指針になります。

なお、H30年3月に総合計画が見直しされたことや、関連計画である「富山県森づくりプラン」及び、「県産材の利用促進に関する基本計画」が新たに策定されたことから、30年度に本振興計画を見直す予定です。



主な取組内容

主な参考指標 H23 ⇒ H33

- 県民協働による里山林の整備の推進
- 地域住民による里山林の維持管理活動の継続への支援
- 過密人工林や風雪被害林の整備
- 竹林が侵入した人工林の整備
- 公益的機能の高度発揮が必要な山地の保全対策
- カンノナガキイムシ被害跡地の復旧
- 森林経営計画の策定支援と施業集約化の推進
- 森林整備に必要な森林境界の明確化
- 伐採後の森林の適正な更新と花粉発生源対策
- 林道等の路網整備(林道、林業専用道、森林作業道)

- ◎ 里山林の整備面積(累計)
1,296ha ⇒ 3,900ha
- ◎ 混交林の整備面積(累計)
693ha ⇒ 2,100ha
- ◎ 実のなる木の植栽面積(累計)
— ⇒ 100ha
- ◎ 間伐実施面積(累計)
27,302ha ⇒ 45,000ha
- ◎ 優良無花粉スギ植栽面積(累計)
— ⇒ 120ha
- ◎ 林内路網密度
28.7m/ha ⇒ 36.8m/ha

- 高性能林業機械の活用による低コスト生産の推進
- 原木流通の低コスト化・効率化の推進
- 品質・性能の確かな製品生産体制の支援など木材産業の体質強化
- 新たな製品開発や安全な住宅づくりの促進
- 川上と川下の関係者が連携して取組む家づくりへの支援
- 県産材を使った住宅の建設や公共建築物等の木造化・内装木質化の促進
- 木育や県産材遊具の設置等による木材利用の普及啓発
- 木質バイオマスの技術開発とエネルギー利用の促進

- ◎ 県産材素材生産量
63千m³ ⇒ 120千m³
- ◎ 製材品出荷量に占める人工乾燥材の割合
41% ⇒ 50%
- ◎ 公共建築物等の木造率
13% ⇒ 25%

- 林業就業者の人材確保と定着
- 効率的な素材生産等を担う技能者の育成
- 森林組合の経営基盤の強化と民間事業者の育成
- 農林水産公社の伐採収入の増大や金利負担の低減等による経営改善
- 県営林の造成や伐採による適正な経営
- 森林・林業に関する技術・知識の普及・指導
- 低コストで安定的な県産材の供給体制を推進する能力を備えた人材の育成
- 森林・林業再生に向けた技術の開発
- 森林ボランティアの活動への支援
- とやまの森づくりサポートセンターによる森林ボランティア団体や企業等への活動の参加支援
- 県民が植樹・育樹活動等に参加する機会の提供

- ◎ 林業就業者
489人 ⇒ 500人
- ◎ 認定森林施業プランナー数(累計)
— ⇒ 24人
- ◎ 素材生産を担う現場技能者数(累計)
6人 ⇒ 90人
- ◎ 認定事業者のうち民間事業者数
3事業者 ⇒ 10事業者
- ◎ 研究の実用化件数(累計)
11件 ⇒ 30件
- ◎ 県民参加による森づくりの年間参加延べ人数
10,775人 ⇒ 13,000人

- 保安林の適正な管理と水源地域の林地の保全
- 森林病虫害に対する適切な防除の実施と被害跡地の健全な森林への誘導
- 気象災害等の予防と復旧
- 山地災害危険地区の各種災害防止対策の推進
- 災害危険箇所情報の提供
- 生活道路として活用される林道の整備
- 特用林産物生産施設整備の支援や生産指導

- ◎ 保安林指定面積(累計)
92,072ha ⇒ 93,200ha
- ◎ 山地災害危険地区着手数(累計)
1,358箇所 ⇒ 1,419箇所
- ◎ 海岸防災林整備延長
5,028m ⇒ 6,700m
- ◎ 年間きのこ生産量
3,435t ⇒ 4,150t

Ⅲ 計画実現のため、平成 29 年度に講じた主な取組み

1 豊かな森づくりに向けた主な施策

「森を活かす」ー県民参加による「多様な森づくり」の推進ー

- 「里山林」や「混交林」の整備、優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及、実のなる木の育成については、県民参加による森づくりの観点から、水と緑の森づくり税を活用し進めることとします。
 - ・ 「里山林」は「里山再生整備事業」により、地域住民等との協働により整備を進めます。
 - ・ 「混交林」は「みどりの森再生事業」により整備を進めます。
 - ・ カシノナガキクイムシ被害地の復旧は、森林の持つ水土保持機能など公益的機能の確保につながることから、「実のなる木の育成事業」により進めます。
 - ・ 森林資源の循環利用と花粉症対策の両立に寄与する優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及を推進します。
- 「森づくりを支える県民意識の醸成」については、フォレストリーダーが指導する「森の寺子屋」（出前講座や森林教室）を開催します。

[平成 29 年度に講じた施策]

- 水と緑の森づくり税を活用した「里山林」の整備
- ①市町村、地域の皆さんとともに、集落周辺の里山の広葉樹林や竹林などを整備しました。

【実績】

- ・ 里山林整備に取り組んだ1～3年目の地区
63地区（11市町）643.0ha、地域住民等の参加人数 1,575人
- ・ 4年目以降の地区
80地区（12市町）745.3ha、地域住民等の参加人数 2,042人

- ◎ 整備事例：竹林の整備（上市町広野北部地区）

〈整備前〉



〈地域住民による活動〉



〈整備後〉



地域住民による森づくり活動

朝日町 棚山地区



- ②主要道路沿線などで、松くい虫等の被害を受けた枯損木を除去しました。

【実績】

- ・ 26地区（11市町）1,073 m³

- ③平成24年度以降海岸林を中心に松くい虫被害が激増したことから、海岸林での重点的な松くい虫被害対策を実施しました。

- 【実績】事業実施地区 89ha 11地区（6市町）
（内訳）
- ・ 薬剤散布 32ha 4地区（2市町）
 - ・ 樹幹注入 2,296本（薬剤本数）
6地区（4市町）
 - ・ 伐倒駆除 173m³ 9地区（5市町）
 - ・ 県民参加の保全活動 7地区（3市町）

被害対策重点区域内での伐倒駆除



④里山再生整備事業を実施している地域住民等に里山管理を継続してもらうため、竹材の新たな利活用方法の研修等を行いました。

【実績】

- ・とやまの竹資源ネットワークの活動
平成30年3月末現在 139団体参加
- ・かぐや姫の里の集いの開催
竹林の手入れや安全な竹の伐採を学ぶ集いを実施
10月4日 120名参加
- ・里山リーダーセミナーの開催 県内各地5回

かぐや姫の里の集いを開催



- 水と緑の森づくり税を活用した「混交林」の整備
手入れ不足で過密となった人工林や、竹が侵入した人工林をスギと広葉樹の混交林に誘導するための整備を実施しました。

【実績】・過密人工林整理 41.5ha 10地区（7市町）
・侵入竹林整理 11.4ha 10地区（10市町） 合計 52.9ha

- 水と緑の森づくり税を活用した実のなる木の育成
カシノナガキクイムシにより被害を受けた跡地に植栽した、ミズナラやコナラなどの実のなる木の保育を実施しました。

【実績】・下刈 34地区（8市町） 20.9ha

- 水と緑の森づくり税を活用した優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及推進

- ・本県で開発した、優良無花粉スギ「立山 森の輝き」のスギ人工林の伐採跡地への植栽や保育を支援しました。
- ・播種用のビニールハウスの新設など、苗木の増産に必要な生産施設の整備を行ないました。
- ・第68回全国植樹祭では、天皇陛下によるお手植えに加え、招待者による植樹活動や苗木の展示・解説など広く普及PRしました。

【実績】

- ・植栽箇所 34箇所（11市町）
- ・面積等 植栽：20.5ha（40,940本）保育：42.2ha
- ・生産施設 1棟（ビニールハウス）

第68回全国植樹祭における
天皇陛下のお手植え



- 森づくりを支える県民意識の醸成

- ・第68回全国植樹祭を5月28日に「魚津桃山運動公園」で開催しました。この大会を契機に県民参加の森づくりを一層推進します。
- ・児童・生徒をはじめ、広く一般県民の森づくりに関する理解を深めるため、フォレストリーダーによる木工クラフト教室、樹木観察会などを「森の寺子屋」として開催しました。

【実績】

- ・「森の寺子屋」の開催 110回（参加人数 6,723人）

森の寺子屋の開催



[平成30年度に講じる施策]

- 水と緑の森づくり税を活用した里山林や混交林の整備
 - ① 地域住民との協働による里山林の整備や、過密人工林などをスギと広葉樹の混交林へと誘導するための森林整備を進めるとともに、海岸林での重点的な松くい虫被害対策を実施します。
 - ② カシノナガキクイムシ被害跡地に植栽した実のなる木の育成や、優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の植栽・保育に支援します。
- 「森の寺子屋」による森林環境教育の推進
フォレストリーダーが指導者となって、森林環境教育を推進します。

「木を使う」ー県民による県産材の有効利用の促進ー

- とやまの森づくりにつながる県産材の有効利用を県民とともに進めるため、県産材の利用促進に関する基本計画に基づき、「県産材アドバイザー」の活動支援などの取組みに加え、県産材住宅への助成など、県産材を利用した住宅建設の促進に取り組めます。
- 県産材を使った公共施設の木造化や内装木質化、備品や遊具の導入に対し支援し、県産材の積極的なPRに努めます。

[平成 29 年度に講じた施策]

- とやまの木で家づくり支援事業
県産材を活用した住宅の新築・増改築に対して助成しました。（補助単価 5 千円/m³~2 万円/m³）
【実績】
・助成棟数 58 棟
- 公共施設等への県産材の利用促進
とやまの森づくりにつながる県産材利用への理解を深めるため、公共施設の木造化や、内装木質化、備品の導入を支援したほか、保育所等への県産材遊具の導入支援など、子どもたちに木の良さを感じてもらい、豊かな心を育む「木育」を推進しました。
【実績】
・木の香るとやまの街づくり事業
公共施設の内装木質化等 4 施設
・県産材こどもの城づくり事業
屋外遊具の製作・設置 3 施設
屋内遊具の製作・設置 2 施設
・県産材遊具の導入支援 11 施設
・とやま県産材遊具貸出 42 回
- 「とやま木と住まいフェア 2017」の開催
県民に木の良さや木造住宅の安全性などについて理解を深めてもらうことを目的に県木材研究所で開催しました。
【実績】
・企業ブース等での木製品等PR
・木材研究所施設を活用した木材強度試験の体験等
・とやまチビ子とんかち大将Jソール表彰式及び作品展示
・木工教室等の開催

支援事業を活用した県産材住宅



公共施設の内装木質化



屋内遊具の設置



[平成 30 年度に講じる施策]

- 県産材を利用した住宅建設の促進
県産材を使用した住宅の新築又は増改築に助成します。
- 木造公共建築物等の推進
県産材を使った木造公共施設の整備等に対し助成します。
- 水と緑の森づくり税の活用などによる県産材の普及啓発
県産材を用いた屋内・屋外遊具の設置や、県産材遊具の導入支援などにより、木を身近に使うことで、人と木と森との関係を積極的に考えられる豊かな心を育む『木育』を推進します。
住宅、家具、建具など木材利用を一体的にPRするイベントを開催します。
- とやま県産材需給情報センターにおいて県産材の需給情報の共有化や、マッチングの円滑化を推進します。
- 県産材活用マニュアルを作成し、店舗や倉庫など民間の建築物での利用の促進を図ります。

「人を育てる」ー森林ボランティア活動への支援ー

- とやまの森づくりサポートセンターを通じたボランティア団体や企業による森づくり活動を支援します。
- 「とやまの森づくり総合情報システム」を活用し、とやまの森の現状や、水と緑の森づくり税を活用した森づくり事業の実施状況、森林ボランティアや企業による森づくり活動などの情報を県民にPRすることで、県民参加による森づくりを推進します。

[平成29年度に講じた施策]

- とやまの森づくりサポートセンターによる森林ボランティア活動への支援
 - ・ ボランティア団体等と森林所有者との橋渡し
 - ・ 登録会員のPRパネルの作成・展示
 - ・ 情報提供や新規団体等の相談窓口の設置
 - ・ 安全機器や林業用具の貸出、保険料の支援
 - ・ 技術研修（森づくり塾）の開催
 - ・ 登録団体の交流支援など
- 【実績】
 - ・ 平成30年3月末現在登録団体等 126団体（5,280人、内個人47人）、54企業
- 県民参加の森づくりの啓発やボランティア間の交流を深めるため、「とやまの森づくりボランティアの集い」を開催しました。
- 過疎化・高齢化などで困難となった里山林の維持管理活動を支援する「森づくりサポーター」を養成し、地域住民との協働活動「里山応援隊活動」を支援しました。

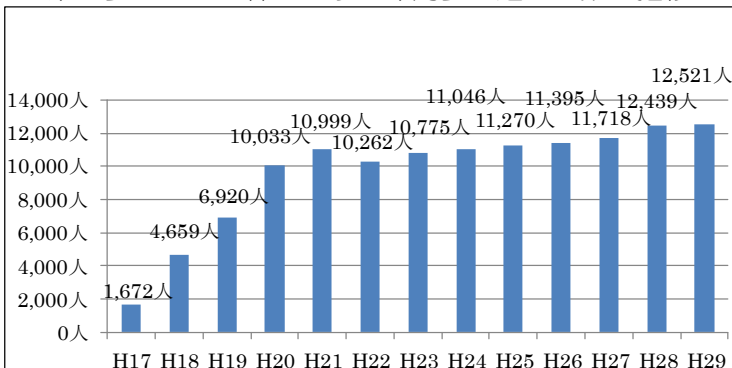
【実績】 里山応援隊活動回数 2回

- 県産広葉樹苗の育成等
森づくりや全国植樹祭に使用する苗木を県民の皆さんと協働で育成し、森林ボランティア団体等に配布し、森づくり活動に活用しました。

【実績】

- ・ 「苗木のホームステイ」として142団体で育成いただいた苗木を、全国植樹祭で植樹
- ・ コナラ、クリなどの広葉樹苗1万4千本を育成

県民参加による森づくりの年間参加延べ人数の推移



[平成30年度に講じる施策]

- 森づくりサポーターの養成・登録
引き続き森づくりサポーターを養成・登録し、里山の維持管理を一層推進します。
- とやまの森づくり総合情報システムによる県民への森づくり情報の提供
とやまの森づくりホームページを通じて、森づくり事業の実施状況などの情報を提供します。

森づくりボランティアの集いを開催



里山応援隊活動



育成した苗木を全国植樹祭で植樹



2 魅力ある林業の構築に向けた主な施策

「森を活かす」ー持続可能な林業経営の推進ー

- 間伐材等の県産材を利用することにより、森林整備に必要な資金を森林所有者に還元し、“収穫する（伐採）→使う（伐採）→植える（植栽）→育てる（保育）”という「循環する森づくり」を進めます。

[平成29年度に講じた施策]

- 森林整備加速化・林業再生基金等の活用

森林整備加速化・林業再生基金及び合板・製材生産性強化基金対策事業費補助金を活用し、川上では、間伐材の生産や、作業路網の整備、高性能林業機械の導入支援により持続可能な林業経営を推進するとともに、川下では、木材加工流通施設整備を行うなど、県産材の利用促進に重点的に取り組みました。

- 施業集約化による木材生産の促進

施業の集約化を進めるためには森林所有者の特定や境界の明確化が前提となることから、境界や所有者が不明で整備が進まない森林において、森林境界の明確化作業を支援しました。

【実績】

- ・ 森林境界明確化面積…… 175ha

- 作業路網や高性能林業機械の整備

県内の施業集約化に取り組む地区を対象に、施業や素材生産を効率的に行うために必要となる作業道の整備や高性能林業機械の導入を支援しました。

【実績】

- ・ 森林作業道開設…………… 127 km
- ・ 高性能林業機械の導入
 - ハーベスタ 1台
 - グラップル付トラック 2台
 - プロセッサ 1台
 - フェラーバンチャ 2台
 - グラップル付バックホウ 1台

森林所有者等による森林境界明確化作業



ハーベスタによる造材作業



トピックス 第46回全国林業後継者大会を開催

平成29年5月27日に黒部市宇奈月国際会館セレネにおいて、第68回全国植樹祭関連行事として開催しました。

本大会は、全国の林業後継者が一堂に会し、林業の振興と森づくりの重要性について意見を交わし、林業を担う人たちが希望や誇りを持って働き続けられる林業の魅力を全国に発信するため、富山県では初めて開催されたものです。

活動発表では「とやまの森・人・ふるさと自慢」と題し、魚津、富山、高岡、砺波の林業研究グループ協議会のメンバー5人が日頃の活動を発表し、全員が「どうです、すごいでしょーう！」で締めくくりました。また、普段は森林組合作業班として働きながら音楽活動を行う“きこりのブルースシンガー”W. C. カラスさんのミニライブも行われ、県内外から集まった約450名の林業関係者から大好評をいただきました。



大会の様子

● 森林整備の推進

森林の持つ多面的機能を持続的に発揮させるため、人工林の間伐や広葉樹林の整備などの森林整備を進めました。

【実績】

・ 造林事業	411 ha
・ 治山事業	23 ha
・ 水と緑の森づくり事業	140 ha
・ 県単独森林整備事業等	68 ha
・ 間伐材生産推進事業	368 ha
・ その他（森林総研造林等）	131 ha
計	1,141 ha

フォワーダによる間伐材の搬出



● 主伐の推進による森林資源の循環利用

成熟期を迎えた人工林資源の循環利用を進めるため、県営林での主伐を推進するとともに、高齢級人工林機能強化事業により、主伐時に放置されている低質材の出材に支援しました。

【実績】

・ 県営林での主伐	22ha (5,890 m ³)
・ 高齢級人工林機能強化事業	4,466 m ³

[平成30年度に講じる施策]

- 施業集約化による木材生産の促進
森林境界明確化作業など施業集約化への支援を実施し、取組みの拡大を進めます。
- 作業路網や高性能林業機械の整備
施業集約化に取組む地域での作業路網や高性能林業機械の整備を重点的に支援し、林業の生産性向上を目指します。
- 間伐等森林整備の推進
森林の持つ多面的機能を持続的に発揮させるため、引き続き、間伐を中心とした森林整備を推進します。
- 主伐可能森林の集約化
県産材の安定供給体制を整備するため、小規模に分散した主伐可能森林の集約化を支援します。

「木を使う」ー県産材の安定供給体制の整備ー

- 県産材の安定的供給体制の構築を図るため、流通コストの低減と県産材の利用拡大を目指した体制づくりを進めます。
- 新たな流通システムの構築のため、出材者から製材工場関係者間で合意形成を図ります。

[平成29年度に講じた施策]

- 県産材の流通体制の整備
「林業成長産業化推進事業」を推進する協議会において、出材者と製材関係者との県産材安定供給の締結に向けた具体的な協議を進めました。
協定が締結されたもののうち、新たな木材加工施設整備が必要な施設については、「林業成長産業化推進事業」を活用して支援しました。

【実績】

- ・ 木材加工流通施設整備（ウッドリンク(株)）1箇所

[平成30年度に講じる施策]

- 流通の低コスト化
 - ・ 安定取引協定の締結などによる出材者と製材関係者との連携と合意形成を進めます。
 - ・ 木材加工流通施設整備を支援し、取組みの拡大を進めます。

木材加工流通施設への機械導入

(板はぎ接着機)



「人を育てる」ーとやまの林業を支える担い手の確保・育成ー

- 林業カレッジの研修により期待される役割に応じた人材の育成を図ります。
 - ① 路網計画（低コスト作業道を含む）や長伐期施業計画、さらには森林収支計画などの総合的な広域プランを立てることのできる人材（森づくりプロデューサー）の育成
 - ② 低コスト作業道の開設など、県産材の低コスト生産を担う技術者の育成
 - ③ 民間事業者に対する技術的指導
- 施業集約化に必要な低コスト生産を担う人材の育成を図ります。

[平成 29 年度に講じた施策]

- 富山県林業カレッジの研修による人材の育成
 - a 路網や森林収支計画など、総合的な広域プランを作成できる技術者を養成しました。

【実績】・研修期間 18 日間、15 名養成
 - b 作業地の状況に応じた簡易で耐久性のある低コストな作業道を開設する技術者を養成しました。

【実績】・研修期間 3 日間、6 名養成
 - c 高性能林業機械のメンテナンス技術や、高度で熟達した機械操作技術の習得のため研修を実施しました。

【実績】・研修期間 4 日間、5 名受講
 - d チェーンソーによる伐木造材作業を安全かつ効率的に実施できる技能者を育成する研修を実施しました。

【実績】・研修期間 3 日間、8 名受講
 - e 架線集材など高度な林業現場に従事する際に必要な技能習得のための研修を実施しました。

【実績】・研修期間 5 日間、4 名受講
 - f 森林施業の集約化を進めることができる森林施業プランナーを育成する研修を実施しました。

【実績】・研修期間 5 日間、5 名受講
 - g 林業への就業を支援する講習を実施しました。

【実績】・講習期間 14 日間、18 名受講
 - h 林業に必要な基本的な知識・技能や、作業班長に必要な知識・技能等習得のため研修を段階的かつ体系的に実施しました。

【実績】
 - ・フォレストワーカー（林業作業士）1 年次～3 年次
76 日間 21 名受講
 - ・フォレストリーダー（現場管理責任者）
18 日間 22 名受講
- 冬期の林業技術の確立に向けた取り組み
「とやま型冬期林業」の確立を目指す取り組みを支援しました。

【実績】・冬期に 6,138 m³の木材を生産

富山県林業カレッジの研修〔座学〕



富山県林業カレッジの研修〔現地〕



とやま型冬期林業の実証



[平成 30 年度に講じる施策]

- 期待される役割に応じた人材の育成
富山県林業カレッジでは、主伐にかかる経費や、立木販売による収入を算出し、林業経営に適した森林か適さない森林かを判断し、今後、必要な施業を計画・実践できる技術者の育成研修を行います。

「山を守る」—森林を支える山村の振興と森林の適正な管理と保全—

[平成 29 年度に講じた施策]

● 林道整備の取組み

森林整備の促進や山村地域における生活環境の改善を図るため、地域の骨格的な林道となる「山のみち」、広域な森林整備の基礎となる「森林基幹道」を整備しました。

【実績】

・ 開設延長

山のみち	0.0 (0.6) km
森林基幹道	0.7 (0.8) km
計	0.7 (1.4) km ():未完成延長

● 保安林の適正な管理

- ・ 公益上必要な森林について保安林に指定しました。
- ・ 保安林の管理を強化するため、保安林標識の新設や交換を県内 40 箇所で行いました。

【実績】

保安林種ごとの指定面積

・ 水源かん養保安林	9.5ha
・ 土砂流出防備保安林	28.4ha
・ 土砂崩壊防備保安林	0.8ha
・ その他保安林	0.4ha
計	39.1ha

● 森林病虫害に対する適切な防除の実施

- ・ 松くい虫被害が平成 24 年から海岸林を中心に増加したことから、海岸林などを被害から守るため薬剤散布や樹幹注入による予防対策と伐倒駆除による被害拡大防止対策を実施しました。
- ・ カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害は、平成 21 年をピークに減少し、沈静化しています。

【実績】

・ 松くい虫対策

薬剤散布	3市町	34 ha
伐倒駆除	8市町	386 m ³
樹幹注入	5市町	274 本 (立木本数)

● 災害に強い森林づくりの推進

台風、梅雨等の集中豪雨に起因した山地災害や、東日本大震災を教訓とした地震や津波等から県民の生命、財産を保全するため、災害に強い森林づくりを目指し治山施設の整備を進めました。

【実績】

- ・ 治山事業 (富山市他 8 市町 31 箇所)

● 水源の森林づくりの推進

県民生活に安定的な水を供給するため、ダム上流等の重要な水源地域における荒廃地の復旧と併せて、本数調整伐等の森林整備を実施しました。

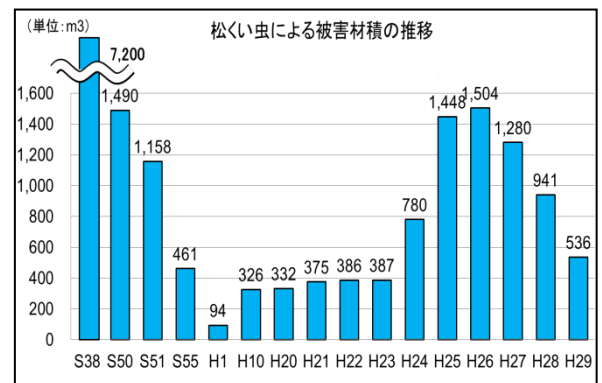
【実績】

- ・ 水源地域整備事業 (南砺市他 1 町 5 箇所)

木材の運搬に利用される林道



集落を守る保安林



治山施設の整備 (南砺市利賀村百瀬川)



- 山地災害危険地区の整備の推進
災害防止のため、治山施設の設置と周辺森林の整備等を一体的に実施しました。

【実績】

- ・ 復旧治山事業 (富山市他3市町 12箇所)
- ・ 予防治山事業 (高岡市他2市町 3箇所)
- ・ 緊急予防治山事業 (富山市 2箇所)
- ・ 地域防災対策総合治山事業 (魚津市 1箇所)

- 雪害防止対策の推進
なだれ防止林の維持、造成に努めるとともに、なだれ危険箇所に予防柵等を設置し、防止対策を実施しました。

【実績】

- ・ なだれ防止林造成事業 (南砺市 2箇所)

- 海岸保全対策の推進
飛砂、潮風、高潮等の被害から人家、農地等を保全するため、海岸防災林の造成及び保育等の維持管理を実施しました。

【実績】

- ・ 海岸防災林造成事業 (入善町 3箇所)

水源地域の荒廃地の復旧 (上市町伊折外)



海岸防災林の造成 (入善海岸)



[平成 30 年度に講じる施策]

- 林道の整備

路線毎に重点整備区間を設定し、予算の集中化により、事業効果の早期実現に努めます。

- 森林病虫害に対する適切な防除の実施

松くい虫等の被害拡大を防止するため、引き続き被害木の伐倒駆除や保全すべき樹木への薬剤注入を実施するとともに、国の保安林緊急改良事業等を活用して、クロマツなどの植栽や、静砂垣の設置を行い、海岸林の再生に努めます。

また、水と緑の森づくり事業により海岸林及び周辺での徹底した松くい虫被害対策を実施します。

- 災害に強い山づくりの推進等

- ① 山地災害危険情報を住民へ周知し、住民の安全確保を図ります。
- ② 治山施設情報を活用し既存治山施設の適切な管理による豪雨時等の被害軽減に努めます。
- ③ 保安林等調査員による巡回を定期的に行い、違法伐採・開発の未然防止に努めます。

トピックス 民有林の樹種別森林資源量をプロット調査から推定 (県森林研究所調べ)

平成 24 年～27 年に県内の民有林で、4km 間隔の格子点 113 点に 1,000 m²の調査区を設定し、毎木調査を実施しました。この調査データから民有林の人工林・天然林別、樹種別の蓄積を推定するとともに、平成 11 年～15 年に行われた毎木調査データを用いて、年成長量を推定しました。

その結果、民有林全体の蓄積は 45,519 千 m³ (うち人工林 24,408 千 m³、天然林 21,112 千 m³)、年成長量は 569 千 m³ (うち人工林 449 千 m³、天然林 120 千 m³) となりました。樹種別の蓄積は、スギが最も多く 21,982 千 m³で、次いでブナ (3,476 千 m³)、コナラ (2,450 千 m³)、ミズナラ (1,408 千 m³) となりました。

≪主な樹種の蓄積と年成長量≫

※成長量のマイナスは枯損等のため。

樹種	出現調査 区数	蓄積 (m ³)			年成長量 (m ³ /yr)		
		人工林	天然林	合計	人工林	天然林	合計
全樹種合計	113	24,407,555	21,111,871	45,519,426	449,436	119,899	569,336
1 スギ	54	21,496,477	485,900	21,982,377	422,526	10,627	433,153
2 ブナ	34	77,480	3,398,515	3,475,995	2,304	48,293	50,597
3 コナラ	32	128,259	2,321,735	2,449,995	4,666	18,396	23,062
4 ミズナラ	48	183,858	1,223,707	1,407,565	-8,555	-140,618	-149,174
5 ホオノキ	39	304,281	891,785	1,196,066	4,793	31,288	36,082
6 トチノキ	15	8,206	1,069,823	1,078,028	-3,784	8,000	4,216

トピックス 「第68回全国植樹祭」の開催

平成29年5月28日（日）天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、7,410名の参加のもと、魚津桃山運動公園を式典会場として「第68回全国植樹祭」を開催しました。

- ◆開催日 平成29年5月28日（日）
- ◆大会テーマ 『かがやいて 水・空・緑のハーモニー』
- ◆主催 公益社団法人国土緑化推進機構、富山県
- ◆式典会場 魚津桃山運動公園（魚津市）
- ◆植樹会場 朝日赤川、入善五十里、黒部田粍、魚津三ヶ、滑川運動公園、丸山総合公園

式典行事

■プロローグ～世界に誇るとやまの自然と文化～

立山連峰から富山湾までの「高低差4,000m」のダイナミックで変化に富んだ地形がもたらす豊かな自然や文化を映像や創作舞踊で表現しました。



創作舞踊

■記念式典

【お手植え・お手播き】

天皇皇后両陛下にお手植え、お手播きいただきました。

	お手植え樹種	お手播き樹種
天皇陛下	タテヤマスギ (優良無花粉スギ「立山 森の輝き」) コシノヒガン、ヒメコマツ	エドヒガン タブノキ
皇后陛下	コシノフユザクラ キタコブシ、ホオノキ	ヤマザクラ マルバマンサク



天皇陛下によるお手植え



皇后陛下によるお手播き

【大会テーマのアピール】

- ・県出身のオペラ歌手による越中万葉の歌唱
- ・魚津市・黒部市の中学生による、森と海へのメッセージ

【次期開催県へのリレーセレモニー】

- ・全国植樹祭のシンボル「木製地球儀」のリレー
- ・エノキ苗木のリレー



越中万葉の歌唱



エノキ苗木のリレー

■エピローグ～つながりあう森・川・海を未来へ～

- ・とやまの伝統芸能等の紹介
- ・森づくりボランティア等のメッセージ発表
- ・グランドフィナーレ

植樹会場

魚津桃山運動公園を含め7箇所に植樹会場を設け、各会場の特性に応じて、28種、約1万本の記念植樹を行いました。

里山林の整備 (県民参加の森づくりの推進)	スギ人工林の再造林 (森林資源の循環利用の促進)	海岸防災林の造成 (森づくりと海づくりの連携)
<p>コナラ・ホオノキ・イタヤカエデなどを植栽</p>	<p>「立山 森の輝き」を植栽</p>	<p>クロマツ・タブノキを植栽</p>
<p>コナラ・エノキ・オニグルミなどを植栽</p>	<p>「立山 森の輝き」を植栽</p>	<p>クロマツ・タブノキを植栽</p>
<p>コナラ・エノキ・オニグルミなどを植栽</p>	<p>「立山 森の輝き」を植栽</p>	<p>クロマツ・タブノキを植栽</p>

～ 県産材をふんだんに活用した第68回全国植樹祭会場 ～

お野立所



御机



お手播き箱



特別招待者席（木製テント）



一般招待者席（県産材ベンチ）



プランターカバー



三旗掲揚台



おもてなし広場



トピックス 県産材の利用促進に関する基本計画の策定

県産材の適切な供給及び利用の確保を通じた林業・木材産業の持続的かつ健全な発展を図り、あわせて森林の適正な整備及び快適で豊かな県民生活の実現に寄与することを目的として、平成28年9月に「富山県県産材利用促進条例」が施行され、この条例に基づき、「県産材の利用促進に関する基本計画」（平成29年度～平成33年度）を平成29年10月に策定しました。

【施策の基本的方向】

- ①公共建築物の木造化や内装等の木質化、民間施設及び住宅への県産材の利用を促進し、需要の拡大を図るとともに、広報活動や木育の推進などにより、県民や事業者の理解の増進を図る。
- ②低コストで効率的な県産材の生産に必要な林業基盤整備や人材の育成・確保、需要に応じた製材品を適時適切に供給できる仕組みづくりなど、川上から川下に至る関係者の連携・協力による安定供給体制の整備を図る。

県では、条例及び基本計画に基づき、市町村や関係団体などと連携して、県産材の一層の利用促進に取り組むこととしております。



基本計画書

IV 富山県森林・林業振興計画の目標指標と平成29年度実績

区分	指標番号	指標名	単位	基準年	実績	目標	
				H23	H29	中間目標(H28)	終期目標(H33)
森を活かす	1	里山林の整備面積（累計）	ha	1,296	2,844	2,600	3,900
	2	混交林の整備面積（累計）	ha	693	1,343	1,500	2,100
	3	実のなる木の植栽面積（累計）	ha	—	50	50	100
	4	森林経営計画策定面積（累計）	ha	—	38,417	25,000	35,000
	5	間伐実施面積（累計）	ha	27,219	35,807	36,000	45,000
	6	優良無花粉スギ植栽面積（累計）	ha	—	62.6	40	120
	7	林内路網密度	m/ha	28.7	33.1	32.9	36.8
木を使う	8	県産材素材生産量	千m ³	63	94	100	120
	9	製材品出荷量に占める人工乾燥材の割合	%	41	45 (H28年次)	50	50
	10	公共建築物等の木造率	%	13	24.2	20	25
人を育てる	11	林業就業者	人	489	456	500	500
	12	認定森林施業プランナー数	人	—	33	18	24
	13	素材生産を担う現場技能者数	人	6	77	66	90
	14	認定事業体のうち民間事業体数	事業体	3	8	6	10
	15	農林水産公社分収造林事業における分収比率等契約変更件数割合	%	54.5	87.0	100	—
	16	研究の実用化件数（H19以降累計）	件	10	36	20	30
	17	県民参加による森づくりの年間参加延べ人数	人	10,775	12,521	12,000	13,000
	18	森の寺子屋の年間開催回数	回	95	110	115	130
山を守る	19	保安林指定面積（民有林）	ha	92,072	92,500	92,700	93,200
	20	山地災害危険地区着手数	箇所	1,358	1,409	1,389	1,419
	21	なだれ危険箇所における整備箇所数	箇所	203	209	208	213
	22	海岸防災林整備延長	m	5,028	6,451	6,178	6,700
	23	年間きのこ生産量	t	3,435	4,360	3,750	4,150

V 平成29年度の森林・林業に関する主な出来事

月 日	主 な 出 来 事
平成29年	
4月23日	とやまの森づくりボランティア交流会〔魚津市 魚津桃山運動公園〕
4月27日	富山県水と緑の森づくり会議
5月27日	第46回全国林業後継者大会〔黒部市 宇奈月国際会館セシネ〕
5月28日	第68回全国植樹祭〔魚津市 魚津桃山運動公園〕
6月 8日	富山県産材利用促進会議（第1回）
6月24日	富山県フォレストリーダー養成講座開講式
7月 8日	飛越源流の森づくり（岐阜県高山市）
8月1、2日	花とみどりの少年団体学習〔立山町 立山青少年自然の家〕
8月 2日	富山県森林審議会
//	県政バス教室（森づくり）〔富山市有峰外〕
8月 8日	花とみどりの少年団リーダー研修〔富山市 呉羽青少年自然の家〕
//	とやまの森づくりサポートセンター運営委員会
8月24日	冬期林業チャレンジ実証委員会
8月31日	富山県産材利用促進会議（第2回）
9月 4日	農林水産技術会議
9月10日	富山県フォレストリーダースキルアップ研修〔黒部市 YKK センターパークほか〕
9月16日	富山県フォレストリーダースキルアップ研修〔富山市 富山県民会館〕
9月23日	とやまの森づくりボランティアの集い〔氷見市鞍川〕
9月30日	とやまの森と木のふれあい体験（イオンモールとなみ）
10月	県産材の利用促進に関する基本計画策定
10月 2日	第46回全国林業後継者大会第4回実行委員会
10月 4日	第68回全国植樹祭第1回御製碑検討委員会
10月 7日	とやま木と住まいフェア2017〔木材研究所〕
10月12日	富山県森林審議会森づくり部会・森林保全部会
10月14日	かぐや姫の里の集い〔富山市西金屋〕
10月28日	富山県フォレストリーダー養成講座閉講式
10月30日	第68回全国植樹祭御机等木製品の常設展示開始〔立山町 富山県林業普及センター〕
11月13日	第68回全国植樹祭第2回御製碑検討委員会
11月20日	CLT 建築物普及セミナー
//	富山県木造公共建築物等推進会議
12月10日	第21回とやま木造住宅設計コンペ表彰式
12月15日	富山県森林審議会森林保全部会
12月22日	税制改正で森林環境税（仮称）及び森林環境譲与税（仮称）の創設が決定
平成30年	
1月 1日	第68回全国植樹祭の御製を賜る
2月 3日	とやまの森づくりサポートセンター懇話会〔富山市 市町村会館〕
2月20日	とやまの森と木とのふれあい体験（イオンモール高岡）
3月 2日	とやま緑化推進機構H30定時総会
3月 5日	富山県フォレストリーダースキルアップ研修〔富山市 富山県総合体育センター〕
3月11日	南砺市利賀村大勘場（桂尾）での大規模な雪崩の発生
3月21日	第68回全国植樹祭御製碑除幕式〔魚津市 魚津桃山運動公園〕
//	第68回全国植樹祭富山県実行委員会第6回総会〔魚津市 ホテルグランミラージュ〕